

2021年2月15日  
日本銀行北九州支店

---

## 北九州・京築地区の金融経済概況

(2021年2月15日)

---

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



## 1. 総論

北九州・京築地区の経済は、厳しい状況にあり、足もとでは新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、持ち直しの動きが一服している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、堅調に推移している。輸出は、持ち直している。設備投資は、弱含んでいる。個人消費は、全体としては弱い動きが続いており、足もとでは新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により下押し圧力の強い状態にある。住宅投資は、弱い動きとなっている。

こうした中で、生産は、持ち直している。雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

### 【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	厳しい状況にありながらも、これまで安定したペースで持ち直していたが、足もとでは新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、持ち直しの動きが一服している。	<u>厳しい状況にあり、足もとでは新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、持ち直しの動きが一服している。</u>	
需要項目	公共投資	堅調に推移している。	堅調に推移している。
	輸出	持ち直している。	持ち直している。
	設備投資	弱含んでいる。	弱含んでいる。
	個人消費	全体としては弱い動きが続いており、足もとでは新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により下押し圧力の強い状態にある。	全体としては弱い動きが続いており、足もとでは新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により下押し圧力の強い状態にある。
	住宅投資	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。
生産	持ち直している。	持ち直している。	
雇用	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	

## 2. 需要項目別動向

公共投資は、堅調に推移している。

輸出は、持ち直している。

設備投資は、弱含んでいる。

12月短観における2020年度の設備投資は、前年を下回る計画となっている。

個人消費は、全体としては弱い動きが続いており、足もとでは新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により下押し圧力の強い状態にある。

食料品や日用品等の販売は引き続き堅調に推移しているものの、飲食業や旅行・観光関連業種では、新型コロナウイルス感染症が再拡大するもとの、引き続き厳しい状況にある。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

### 3. 生産

生産は、持ち直している。

#### ▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	着実に持ち直している。
	電炉	弱い動きとなっている。
化学		高水準で推移している。
セメント		持ち直している。
住設機器		持ち直している。
電気機械		持ち直している。
電子部品		持ち直している。
自動車		着実に持ち直している。

### 4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

### 5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）は、前年を下回っている。

### 6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

### 7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症の影響による法人資金需要の高まり等を背景に、前年を上回って推移している。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合＜ストック・ベース＞）は、低下傾向が続いている。

以 上